

始まりは、“ことば”から。

2020年、平成の教育改革が実施されます。

新しい教育で求められる力は知識量ではなく、学んだ知識を活用する力。

そこで重要なのが“ことば”的理解です。

小学生のうちから実践を繰り返し、知識の上手な活用方法を身につける必要があります。

「ことばキッズ」でグングンと力を伸ばしていくお子さまの姿を、是非ご覧ください。

辞書を使って
語彙力UP!



意見文で
文章力・表現力
UP!



文章の精読で
論理性UP!



レベル別学習で
主体性UP!



答えを認める
指導法で
学習意欲UP!

自分で答えをつくる
解答法だから、
公立中高一貫校
受験対策にも役立つ!

だから今、
ことばキッズ®

KOTOBAKIDS 始めませんか？

2020年大学入試改革対応の
「本物の国語力」を身につけるプログラム！

詳しくは裏面へ！

成長の源は、国語力。

日本の教育は、すでに
変わり始めて
います!

“ことば”を自由に使いこなし、的確に理解できる力を。

「平成の教育改革」その内容、ご存知ですか？

大学入試制度
改革
2020年

2つのテストの導入

- 基礎学力を問う
「高等学校基礎学力テスト(仮称)」
- 知識を活用した思考力・表現力を問う
「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」

現行のセンター試験が廃止

- 各大学の2次試験が人物評価の試験へ移行
- 小論文、面接、集団討論、プレゼンテーション
資格試験等の成績なども重視

学力については、思考力・判断力・表現力を評価するため、自分の考えに基づき論を立てて記述する形式が推奨されています。

2020年大学入試制度改革では、新テストの導入が注目されがちですが、大学入試制度が変わるということは、小学生の教育もスタイルが変わるということなのです。

次は「**21世紀型能力**」という、複合的な力が求められる時代。
お子さまの未来を見据えた学習、始めていますか？

21世紀を逞しく生き抜くための実践的な課題解決力に直結する力が、「**21世紀型能力**」。そして、その基礎力を担う1つが「**言語スキル**」。ことばを道具として使いこなせる力は、全ての源です。つまり、ことばが磨かれていないと、その先にあるスキルも発揮できないということなのです。

実践力

- 自律的活動力
- 人間関係形成力
- 社会参画力
- 持続可能な
未来づくりへの責任

21世紀型能力

思考力

- 問題解決・発見力、
創造力
- 論理的・批判的思考力
- メタ認知・適応的学習力

基礎力

- 言語スキル
- 数量スキル
- 情報スキル

※国立教育政策研究所(2013)

だから！

全ての教科の
土台となる
「国語力」を身につける

ことばキッズ®
KOTOBARIDS

「文を書くことが苦手なお子さま」も「低学年のお子さま」も学習しやすい内容です。

作文や自己表現が苦手なお子さまほど、学習してもらいたい。

「ことばキッズ」では、様々なことばに触れることから語彙力を高め、自分の考えや意見を表現できる子どもを育てます。

「ことば」を知り、「ことば」に触れ、「ことば」を発信しましょう！

スモールステップだから、確実に「本物の国語力」が身につく！

授業システム

1 言葉プリント

語彙学習

毎回1つの言葉について
辞書を使った意味調べ、短文作り等を行います。

普段の
勉強の中で
自分から辞書を使って
調べるようになった。

作文が苦手で、最悪は
書けなかったが、
だんだん書けるようになり
楽しくなってきた様子。

2 意見文プリント

表現力を養成

意見文トレーニングを中心に、
自分の考えを
論理的に表現する訓練を行います。

作文力と思考力が
かなり身についてきて、
文章をアウトプットする
スピードが上がってきた。

3 音読・書写プリント

美しい日本語に触れる

「読む・書く」の練習により、
国語力の基礎となる知識を
確実に身につけます。

解説がない問い合わせ
に対しての抵抗感がなくなり、
自分の意見をどんどん
出せるようになった。

4 アラカルトプリント

興味関心を喚起

様々なジャンルの国語の問題に触れて
楽しく飽きさせない工夫が
されています。

国語力
ニガテナガカ、
ことばキッズは兼かわらずに
耳馴れ具合でくれる。

わからないことはすぐに
人に聞くうちに、
まずは自分で考えて、
自分で調べるという習慣が
身についてきた。

お子さまがどんどん成長する姿に、ご期待ください。